

全国高等学校情報処理競技大会 主催 財団法人全国商業高等学校協会 後援 文部科学省

全国大会競技問題 (2006. 7. 30)

〔I〕 関連用語と情報活用

(解答時間 問題【1】、【2】、【3】、【4】とあわせて 40分)

注意事項

- (1) 解答は明瞭に記入してください。
- (2) 筆記用具は、鉛筆またはシャーペンと消しゴムです。
- (3) 筆記用具などの物品の貸借はできません。
- (4) 答案を訂正するときは、消しゴムではっきりと消してください。
- (5) 答案作成が終わっても、着席したまま静かにしてください。
- (6) 途中で気分が悪くなった場合、手を挙げて係員に知らせてください。

【注意】 係員の指示があるまで、問題に手をふれないでください。

【1】次の文に最も関連の深い語を解答群から選び、記号で答えなさい。

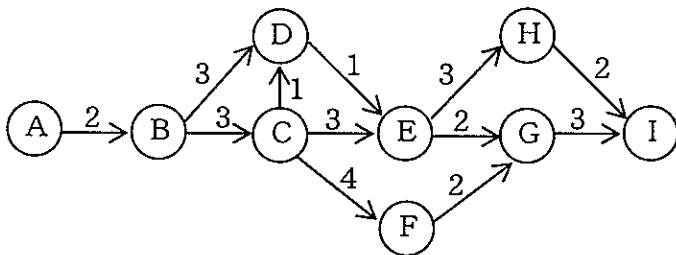
1. 2台のハードディスクを利用し、それぞれに同じデータを書き込むことで可用性を維持する。
ア. RAID-0 イ. RAID-1 ウ. RAID-3 エ. RAID-5
2. 当初は2バイトで規定されたが、現在では世界中の文字をコード化するため、4バイトで定義されているコード。
ア. ASCII イ. EUC ウ. Unicode エ. シフトJIS
3. 専用回線よりコストパフォーマンスに優れ、公衆回線を専用回線のように安全に利用できるサービス。
ア. VPN イ. P2P ウ. LAN エ. WAN
4. GUI環境で利用され、複数の項目から排他的に1つを選択させるオブジェクト。
ア. ラジオボタン イ. チェックボックス ウ. プログレスバー エ. ラベル
5. OSI基本参照モデルの7層うち、インターネットで使われるプロトコルであるTCP及びIPが属するもの。
ア. データリンク層及びネットワーク層 イ. データリンク層とトランスポート層
ウ. トランスポート層とセッション層 エ. トランスポート層とネットワーク層
6. ソフトウェアに変更を加えた際に、その変更箇所がほかの部分に影響していないかどうかを確認する目的で行うテスト。
ア. 結合テスト イ. システムテスト ウ. モジュールテスト エ. レグレッションテスト
7. 基準値を中心として左右の分割を再帰的に繰り返し、並べ替えを行う整列方法。
ア. クイックソート イ. シェルソート ウ. ヒープソート エ. マージソート
8. 電子商取引（EC）において、B to C に該当するもの。
ア. ASP イ. バーチャルモール ウ. CALS エ. EDI
9. 改ざん対策として、暗号技術を用いたデジタル署名を利用するときに、送信者は送信するデータのハッシュ値を計算し、これを暗号化する。この暗号化に用いる鍵の種類。
ア. 受信者の公開鍵 イ. 送信者の公開鍵 ウ. 受信者の秘密鍵 エ. 送信者の秘密鍵
10. IPアドレスにおいて、ネットワークアドレス部16ビット、ホストアドレス部16ビット固定で構成されるもの。
ア. クラスA イ. クラスB ウ. クラスC エ. クラスD

【2】次の各問いに答えなさい。

- 2進数で表現された正の整数を64倍するには、左に何ビットシフトすればよいか。ただし、あふれはおこらないものとする。
- 10行10列の2次元配列aを、次のようにメモリ上の連続した領域へ行方向に格納するとき、a[3, 3]が格納される場所の番地はどれか。ただし、番地は10進数表示とする。

100	101	102	103	
a[1, 1]	a[1, 2]	a[1, 3]	a[1, 4]	

- 320×240ドットの画像データを、100dpiのプリンタを使って画像を加工せずに印刷する。印刷された画像の大きさは何cm×何cmになるか。ただし、1インチ=2.5cmとする。
- 平均位置決め時間20ミリ秒、平均回転待ち時間が2.5ミリ秒で、1トラック当たりの記憶容量40Kバイトの磁気ディスク装置がある。1ブロック4Kバイトのデータを1ブロック転送するのに要する平均アクセス時間は何ミリ秒か。ただし、1K=10³とし、オーバーヘッド時間は無視する。
- 500個の異なる整数値が昇順に整列されている表がある。この表を二分探索して目的の数値を取り出す場合、最大比較回数は何回か。ただし、目的の値は必ず表中にあるものとする。
- コンピュータで連立一次方程式の解を求めるのに、式に含まれる未知数の個数の3乗に比例する計算時間がかかるとする。あるコンピュータで100元連立一次方程式の解を求めるのに4秒かかったとすると、その2倍の演算速度をもつコンピュータで300元連立一次方程式の解を求めるときの計算時間は何秒か。
- 次のPERT図で、結合点H→Iの作業の、最遅開始日までの作業の所要日数はいくらか。ただし、矢印の数字は作業日数を示している。

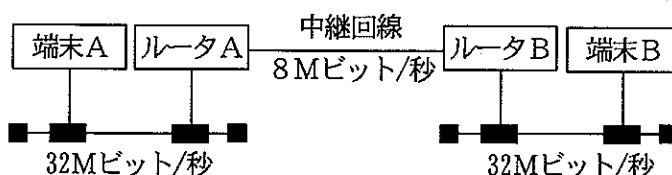


- クロック周波数が1GHzの処理装置がある。この処理装置の命令種別が、表に示す3つから成っているとき、処理能力は約何MIPSか。

命令種別	実行時間(クロック)	実行頻度
命令1	12	60%
命令2	8	30%
命令3	4	10%

- 次の図で端末Aがフレームを送信し始めてから、端末Bがフレームを受信し終わるまでの時間は何ミリ秒か。ただし、1M=10⁶とする。

【条件】フレーム長は、LAN、中継回線ともに1,000バイト。ルータA、Bの処理時間は無視する。



- グローバルIPアドレスとして、xxx.yyy.155.200 ~ xxx.yyy.155.207の割当てを受けた。このIPアドレスを公開サーバに割り振るときのサブネットマスクを10進数で表すと、255.255.255.zzzになる。zzzはいくつか。

【3】 (1), (2) の問題を解きなさい。

(1) 次の表は、ある高等学校の同窓会収支計算表である。同校では平成21年10月に創立20周年の記念事業を計画している。ワークシートの構成と処理条件にしたがって、各設問に答えなさい。

ワークシートの構成

シート名「卒業生数」

	A	B	C	D	E	F	G
1	年会費納付人数計算表						
2		卒業生人数	16年度実績	17年度実績	18年度見込	19年度見込	20年度見込
3	15年度以前	4,870	288	311	300	300	300
4	16年度	358	358	186	93	50	50
5	17年度	353	0	353	176	88	50
6	18年度	355	0	0	355	177	88
7	19年度	360	0	0	0	360	180
8	20年度	360	0	0	0	0	360
9	合計	6,656	646	850	924	975	1,028

シート名「収支計算」

	A	B	C	D	E	F
1	同窓会収支計算表					
2		科目	17年度実績	18年度見込	19年度見込	20年度見込
3	収 入	前年度繰越金	66,233	103,410	178,410	499,410
4		入会金	4,236,000	4,260,000	4,320,000	4,320,000
5		年会費	2,550,000	2,772,000	2,925,000	3,084,000
6		広告掲載収入	540,000	500,000	500,000	500,000
7		積立金運用益		33,000	66,000	99,000
8		雑収入	13,865			
9		収入合計	7,406,098	7,668,410	7,989,410	8,502,410
10						
11	支 出	人件費	1,150,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
12		消耗品費	68,000	80,000	80,000	80,000
13		旅費・交通費	105,360	100,000	100,000	100,000
14		通信費	89,540	100,000	100,000	100,000
15		会議費	1,085,300	1,100,000	1,100,000	1,100,000
16		広報費	104,000	120,000	120,000	120,000
17		HP運営費	0	60,000	60,000	60,000
18		慶弔費	15,000	30,000	30,000	30,000
19		部活動奨励費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
20		予備費	85,488	100,000	100,000	100,000
21	創立記念事業積立金	2,200,000	2,200,000	2,200,000	2,200,000	
22	支出合計	7,302,688	7,490,000	7,490,000	7,490,000	
23						
24						
25	21年度 創立記念事業予算					
26	創立記念事業費	10,000,000				
27	20年度繰越金見込額	1,012,410				
28	積立金合計	8,800,000				
29	不足	187,590				

処理条件

1. シート名「卒業生数」は、各年度の卒業生人数をもとに、年会費納入人数の実績、及び18年度以降の見込みを計算している。

- ① 17年度以前の人数は実績値である。
- ② 15年度以前の卒業生人数は4,870人である。ここ数年の年会費納入人数はこのうち300人前後で推移しているため、18年度以降も年会費納入人数は300人を見込むことにする。
- ③ 16年度と17年度の卒業生人数はそれぞれ358人、353人である。卒業時は全員が同窓会入会金と1年分の同窓会費を納入している。
- ④ 18年度の卒業予定人数は355人であり、19年度以降の卒業予定人数は360人とする。卒業時は全員の同窓会入会金と1年分の同窓会費を見込むことにする。
- ⑤ 卒業時以降の同窓会年会費の納入人数は、1年ごとに前年度納入人数の2分の1になるが、この結果が50より小さい場合、納入人数は50人とする。ただし、小数点以下を切り捨てる。

2. シート名「収支計算」は、17年度の収支実績と18年度以降の収支見込みをもとに、平成21年10月に計画している創立記念事業の資金の過不足を計算している。

- ① 「前年度繰越金」は、前年の「収入合計－支出合計」で求める。
- ② 収入の「入会金」は、それぞれの年度の「卒業生人数×12,000」で求める。
- ③ 収入の「年会費」は、それぞれの年度の「年会費納入人数（17年度は実績、18年度以降は見込み）×3,000」で求める。
- ④ 「収入合計」は、それぞれの年度の計算をしている列の4～9行目の金額を合計して求める。
- ⑤ 「支出合計」は、それぞれの年度の計算をしている列の12～22行目の金額を合計して求める。
- ⑥ 「創立記念事業費」は、10,000,000円を予定している。
- ⑦ 創立記念事業予算は、17年度から毎年2,200,000円ずつ積み立てる積立金と、21年度に前年度から繰り越される同窓会予算を充てる。
- ⑧ 創立記念事業予算の過不足を表示するB29は、過不足を判定し、「不足」または「充足」と表示する。また、その金額を表示するC29は、不足の場合も充足の場合も正（プラス）の数で表示する。

設問1 シート名「卒業生数」のE4に設定する式の空欄(1)、(2)にあてはまる適切なものを答えなさい。ただし、この式をF4～G4、E5～G5、F6～G6、G7にコピーするものとする。

=IF((1) < (2), (2), (1))

ア 50	イ INT(D4/2)	ウ INT(\$D4/2)
エ ROUNDDOWN(D4/2,-1)	オ ROUNDDOWN(\$D4/2,-1)	

設問2 シート名「収支計算」のD4に設定する適切な式を答えなさい。ただし、この式をE4～F4にコピーするものとする。

ア =\$C4+C10-C23	イ =\$C10-C23	ウ =C10-C23
エ =C4+C10-C23		

設問3 シート名「収支計算」のC5に設定する式の空欄(1)～(3)にあてはまる適切なものを答えなさい。ただし、この式をD5～F5にコピーするものとする。

= (1) (卒業生数! (2), VALUE((3) (収支計算!C2,2))-16)*12000

ア VLOOKUP	イ INDEX	ウ LEFT
エ RIGHT	オ B\$5:B\$8	カ \$B5:\$B8

設問4 シート名「収支計算」のC6に設定する適切な式を答えなさい。ただし、この式をD6～F6にコピーするものとする。

ア =卒業生数!C9*3000	イ =卒業生数!D9*3000	ウ =卒業生数!\$C9*3000
エ =卒業生数!\$D9*3000		

設問5 シート名「収支計算」のC29に設定する式の空欄(1)～(3)にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF((1), (2), (3))

ア C26+C27-C28	イ C26-C27-C28	ウ C28-C26-C27
エ C27+C28-C26	オ C26+C27<C28	カ C26>C27+C28

(2) 次の表は、ある駅伝大会の選手名簿と着順の成績をチーム別に集計し、区間タイムと区間順位を算出したものである。ワークシートの構成と処理条件にしたがって、各設問に答えなさい。

ワークシートの構成

シート名「名簿」

	A	B	C	D	E
1	グループA		グループB		
2	A101-1	赤林	B101-1	桜井	
3	A101-2	岡村	B101-2	河田	
4	A101-3	和田	B101-3	河井	
5	A101-4	西川	B101-4	渡部	
6	A102-1	吉田	B102-1	宮川	
7	A102-2	新保	B102-2	中野	
8	A102-3	小島	B102-3	渡辺	
9	A102-4	辻村	B102-4	正田	
10	A103-1	吉岡	B103-1	吉川	
11	A103-2	清家	B103-2	竹中	
12	A103-3	中村	B103-3	宮本	
13	A103-4	早見	B103-4	佐野	
14	A104-1	田村	B104-1	高木	
15	A104-2	宮内	B104-2	牧	
16	A104-3	小林	B104-3	石田	
17	A104-4	森	B104-4	井原	
18	A105-1	島田	B105-1	八代	
19	A105-2	南	B105-2	岩田	
20	A105-3	中島	B105-3	関本	
21	A105-4	清水	B105-4	金子	

シート名「成績」

	A	B	C
1	選手番号	タイム	名前
2	A105-1	0:31:52	島田
3	B105-1	0:31:52	八代
4	B103-1	0:31:53	吉川
5	A103-1	0:31:57	吉岡
6	A101-1	0:32:09	赤林
7	∫	∫	∫
10	B104-1	0:32:25	高木
11	B102-1	0:32:43	宮川
12	A102-2	1:06:01	新保
13	B105-2	1:06:16	岩田
14	B103-2	1:06:26	竹中
15	∫	∫	∫
39	B105-4	2:08:21	金子
40	B104-4	2:09:48	井原
41	B102-4	棄権	正田

※シート「成績」のタイムは1区の手がスタートしてからの経過時間である。

シート名「中継タイム」

	A	B	C	D	E	F
1	グループA 中継タイム					
2		1区	2区	3区	4区	順位
3	A101	0:32:09	1:07:28	1:39:41	2:07:30	3
4	A102	0:32:16	1:06:01	1:38:09	2:06:20	優勝
5	A103	0:31:57	1:07:47	1:39:38	2:07:34	4
6	A104	0:32:14	1:07:24	1:39:48	2:07:28	2
7	A105	0:31:52	1:06:41	1:39:03	2:07:56	5
8						
9	グループB 中継タイム					
10		1区	2区	3区	4区	順位
11	B101	0:32:21	1:07:22	1:38:28	2:08:10	2
12	B102	0:32:43	1:07:49	1:40:37	棄権	棄権
13	B103	0:31:53	1:06:26	1:38:20	2:06:15	優勝
14	B104	0:32:25	1:06:53	1:40:14	2:09:48	4
15	B105	0:31:52	1:06:16	1:38:20	2:08:21	3

シート名「区間タイム」

	A	B	C	D	E
1	グループA 区間タイム				
2		1区	2区	3区	4区
3	A101	0:32:09	0:35:19	0:32:13	0:27:48
4	A102	0:32:16	0:33:45	0:32:09	0:28:11
5	A103	0:31:57	0:35:50	0:31:52	0:27:56
6	A104	0:32:14	0:35:10	0:32:24	0:27:40
7	A105	0:31:52	0:34:49	0:32:22	0:28:54
8					
9	グループB 区間タイム				
10		1区	2区	3区	4区
11	B101	0:32:21	0:35:01	0:31:06	0:29:42
12	B102	0:32:43	0:35:07	0:32:48	棄権
13	B103	0:31:53	0:34:33	0:31:54	0:27:55
14	B104	0:32:25	0:34:28	0:33:20	0:29:35
15	B105	0:31:52	0:34:23	0:32:05	0:30:01

シート名「区間順位」

	A	B	C	D	E
1	グループA 区間順位				
2		1区	2区	3区	4区
3	A101	3	4	3	2
4	A102	5	新保	2	4
5	A103	2	5	中村	3
6	A104	4	3	5	森
7	A105	島田	2	4	5
8					
9	グループB 区間順位				
10		1区	2区	3区	4区
11	B101	3	4	河井	3
12	B102	5	5	4	棄権
13	B103	2	3	2	佐野
14	B104	4	2	5	2
15	B105	八代	岩田	3	4

処理条件

- この駅伝は、4つの区間からなり、男子チームが参加するグループAと、男女混合チームが参加するグループBの2つのグループに分かれている。
- シート名「名簿」は、駅伝大会に参加したチームの選手名簿である。
 - チームは、グループA、グループBとも5チームである。
 - A列とD列は選手番号であり、B列とE列は選手名である。
 - 選手番号の最初の4文字がチーム番号であり、その1文字目は参加したグループを表している。また、選手番号の最後の1文字はその選手が走る区間を表している。

3. シート名「成績」は、各中継地点とゴールで各選手が到着したタイムを着順に記録する。
- ① 「タイム」は1区の選手がスタートしてからの経過時間である。
 - ② 途中で棄権したチームの「タイム」には、その棄権した区間から4区まで「棄権」という文字を入力する。
 - ③ C列の「名前」は、シート名「名簿」から参照して表示する。
4. シート名「中継タイム」は、シート名「成績」の「タイム」をチーム別に参照し、チームの最終順位を「タイム」の速い順につける。
- ① 途中で棄権したチームの「タイム」や「順位」は、「棄権」を表示する。
 - ② それぞれのグループの優勝チームの「順位」は、「優勝」を表示する。
5. シート名「区間タイム」は、シート名「中継タイム」の経過時間より、各選手の区間タイムを求める。
- ① 途中で棄権したチームの区間タイムは、「棄権」を表示する。
6. シート名「区間順位」は、シート名「区間タイム」の区間ごとのタイムより、選手の区間順位をタイムの速い順につける。
- ① 途中で棄権したチームの区間順位は、「棄権」を表示する。
 - ② 各区間で区間タイムが1位の区間順位は、その選手名を表示する。

解答に使用できる演算子及び関数

四則演算子

+ - * /

文字列結合

&

比較演算子

= > < >= <=

関数

LEFT

RIGHT

MID

RANK

HLOOKUP

VLOOKUP

上記以外の演算子及び関数を使用した解答は無効とする。

設問1 シート名「成績」のC2に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。ただし、この式をC3～C41にコピーするものとする。

=IF((1) ="A", (2) (A2, (3)), 2, FALSE), (2) (A2, 名簿!D\$2:E\$21, 2, FALSE))

設問2 シート名「中継タイム」のB3に設定する式の空欄(1), (2)をうめなさい。ただし、この式をB3～E7とB11～E15にコピーするものとする。

=VLOOKUP((1) &"-"&LEFT(B\$2, 1), (2) , 2, FALSE)

設問3 シート名「中継タイム」のF11に設定する式の空欄(1)をうめなさい。ただし、この式をF12～F15にコピーするものとする。

=IF(E11="棄権", "棄権", IF((1) =1, "優勝", (1)))

設問4 シート名「区間タイム」のC3に設定する式の空欄(1), (2)をうめなさい。ただし、この式をC3～E7とC11～E15にコピーするものとする。

=IF((1) ="棄権", "棄権", (2))

設問5 シート名「区間順位」のB11に設定する式の空欄(1), (2)をうめなさい。ただし、この式をB11～E15にコピーするものとする。また、データの利用は、カレントワークシートのデータを優先すること。

=IF(区間タイム!B11="棄権", "棄権",
IF(RANK((1) 解答不要)=1
, VLOOKUP((1) , (2) , 2, FALSE)
, RANK((1) 解答不要)))

- 【4】あるコンピュータ関連の教育を専門に行っている学校では、開講する講座（以下、「コース」という）を、次のようなりレーショナル型データベースを設計し、管理することにした。このデータベースについて、データベースの構成と処理条件にしたがって、各設問に答えなさい。

データベースの構成

コース表

<u>コースコード</u>	コース名	定員	開始日	回数	受講料
---------------	------	----	-----	----	-----

※下線は、主キーとなる項目であることを表している。

受講者表

<u>受講者コード</u>	氏名	生年月日	性別
---------------	----	------	----

教材表

<u>教材コード</u>	教材名	教材価格
--------------	-----	------

コース実施表

<u>コースコード</u>	<u>実施回</u>	実施日	使用教室	教材コード
---------------	------------	-----	------	-------

コース受講者表

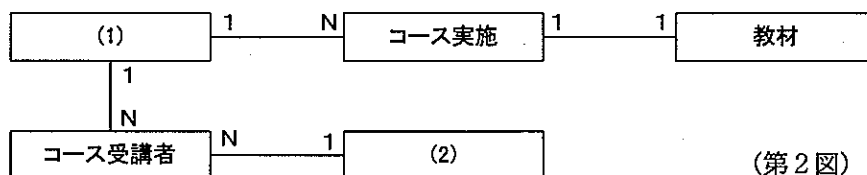
<u>受講者コード</u>	<u>コースコード</u>	<u>実施回</u>	評価
---------------	---------------	------------	----

(第1図)

処理条件

- コース表の「回数」は、そのコースが何回の講座で構成されているかを表している。なお、1回の講座で構成されているコースもある。
- コース実施表はコース表1件につき回数分あり、コース受講者表は、受講者ごとにコース表1件につき回数分ある。
- コースは、実施回ごとに教室と教材を手配している。
- 1つのコースの異なる実施回で、違う教材を使うことがある。
- 日付に関する項目は、文字型のデータで西暦年4桁、月2桁、日2桁の 'yyyymmdd' の形式である。
- 受講者は、受講者コードによって一意に識別される。
- 受講申し込みはコースごとに行う。
- 受講の申し込みが完了したのち、コース受講者表は回数分作成される。ただし、「評価」を NULL 値にして、「実施回」に実施回分の連番を振っている。
- コースの各回の受講終了ごとに、受講者に評価を記入してもらう。「評価」は、5段階（1～5の数値で、大きい数値が高い評価）で評価する。
- 受講生が欠席した場合、コース受講者表の「評価」には、0を設定する。

設問1 第2図のE-R図は、第1図のデータベース表のリレーションを表したものである。空欄(1)、(2)に入る適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、第2図の1とNの表記は、それぞれが1対1の関係か、1対Nの関係かを示している。



(第2図)

設問1の解答群

ア 受講者

イ コース

設問2 受講終了ごとの受講者の評価からコース受講者表の「評価」を入力し、「評価」が未入力の場合は欠席とする。コースコードが 'A001'、実施回が1のとき、「評価」が未入力の受講者を欠席にするための更新処理を行う SQL 文の空欄(1)～(4)に入る適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

```

UPDATE コース受講者表 (1) (2) (3) (4)
WHERE コースコード = 'A001' AND 実施回 = 1 AND 評価 IS NULL
  
```


設問2の解答群

ア 1	イ 受講者コード	ウ =	エ INTO
オ 0	カ 評価	キ IN	ク SET

設問3 教材価格の合計が1万円以上になるコースのコースコード、コース名、教材合計金額を抽出した表を次の手順で作成する。SQL文の空欄(1)、(2)をうめなさい。ただし、1つのコースの異なる実施回で同じ教材が使われている場合は、教材価格は重複して合計しないものとする。

- ① コースごとに使用する教材を求める、次のSQL文の実行結果を、中間表1とする。ただし、重複行は取り除くこと。

```
SELECT (1) コース表.コースコード, コース名, 教材価格
FROM コース表, 教材表, コース実施表
WHERE コース表.コースコード = コース実施表.コースコード
      AND 教材表.教材コード = コース実施表.教材コード
```

- ② 中間表1から、コースごとの教材合計金額を求め、教材合計金額が1万円以上になるコースのコースコード、コース名、教材合計金額を表示する。

```
SELECT コースコード, コース名, SUM(教材価格) AS 教材合計金額
FROM 中間表1
GROUP BY コースコード, コース名 HAVING (2)
```

設問4 受講者の「評価」の平均が4未満である実施回について、そのコースのコースコード、コース名、実施回、「評価」の平均値である評価平均を表示するSQL文の空欄(1)、(2)をうめなさい。ただし、コースコードを第1キー、実施回を第2キーとして昇順に表示する。

```
SELECT コース表.コースコード, コース名, 実施回, AVG(評価) AS 評価平均
FROM コース表, コース受講者表
WHERE コース表.コースコード = コース受講者表.コースコード
GROUP BY コース表.コースコード, コース名, 実施回 (1)
ORDER BY (2) ASC
```

設問5 コースコード 'A001' のコースに新たな申込みの問合せがあったとき、申込みが可能かどうかを答えるために、そのコースの「コース名」、「開始日」、「定員」、「申込受付が完了している受講者数」を表示するSQL文の空欄(1)、(2)をうめなさい。

```
SELECT コース名, 開始日, 定員, COUNT(*) AS 受講者数
FROM コース表, コース受講者表
WHERE コース表.コースコード = コース受講者表.コースコード
      AND (1)
      AND (2)
GROUP BY コース名, 開始日, 定員
```

設問6 第1図のコース実施表では、コースの実施回ごとに1つの教材を管理している。あるコースの実施回で複数の教材を利用することになったため、それらを個別に管理できるようにデータベースの構成を変更することにした。変更内容は、コース実施表から教材コードを削除し、3つの項目からなる新たなデータベース表の作成である。この表を構成する項目をすべて答えなさい。ただし、主キーとなる項目には下線を引くこと。

【I】 関連用語と情報活用 解答用紙

選手番号		得点	
------	--	----	--

【1】

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	

各2点

【2】

1		2	番地	3	cm× cm	4	ミリ秒	5	回
6	秒	7	日	8	MIPS	9	ミリ秒	10	

各2点

【3】 (1)

設問1	(1)		(2)			
設問2						
設問3	(1)		(2)		(3)	
設問4						
設問5	(1)		(2)		(3)	

設問ごとに各3点

【3】 (2)

設問1	(1)		(2)	
	(3)			
設問2	(1)		(2)	
設問3	(1)			
設問4	(1)		(2)	
設問5	(1)		(2)	

設問ごとに各3点

【4】

設問1	(1)		(2)					
設問2	(1)		(2)		(3)		(4)	
設問3	(1)				(2)			
設問4	(1)				(2)			
設問5	(1)				(2)			
設問6								

設問ごとに各5点

【I】 関連用語と情報活用 審査基準

選手番号		得点	
------	--	----	--

【1】

1	イ	2	ウ	3	ア	4	ア	5	エ
6	エ	7	ア	8	イ	9	エ	10	イ

各2点

【2】

1	6	2	122番地	3	8cm×6cm	4	23ミリ秒	5	9回
6	54秒	7	12日	8	100MIPS	9	1.5ミリ秒	10	248

各2点

【3】(1)

設問1	(1)	イ	(2)	ア		
設問2	ウ					
設問3	(1)	イ	(2)	カ	(3)	ウ
設問4	イ					
設問5	(1)	カ	(2)	イ	(3)	エ

設問ごとに各3点

【3】(2)

設問1	(1)	LEFT(A2,1) (別解 MID(A2,1,1))	(2)	VLOOKUP
	(3)	名簿!A\$2:B\$21	(* (1), (3)は各列名に\$も可)	
設問2	(1)	\$A3	(2)	成績!\$A\$2:\$B\$41 (別解 成績!\$A\$2:\$C\$41)
設問3	(1)	RANK(E11,E\$11:E\$15,1) (* 各列名に\$も可, 1は0以外の数値, またはTRUEでも可)		
設問4	(1)	中継タイム!C3	(2)	中継タイム!C3 - 中継タイム!B3
設問5	(1)	\$A11&"-"&LEFT(B\$10,1) (* B\$10は, B\$2でも可)	(2)	名簿!\$D\$2:\$E\$21
		(別解 \$A11&"-"&MID(B\$10,1,1))		

設問ごとに各3点

【4】

設問1	(1)	イ	(2)	ア				
設問2	(1)	ク	(2)	カ	(3)	ウ	(4)	オ
設問3	(1)	DISTINCT	(2)	SUM(教材価格) >= 10000				
設問4	(1)	HAVING AVG(評価) < 4	(2)	コース表. コースコード, 実施回 (* 実施回は, コース受講者表. 実施回でも可)				
設問5	(1)	コース受講者表. コースコード = 'A001'		(2)	実施回 = 1			
		(別解 コース表. コースコード = 'A001')			(別解 コース受講者表. 実施回 = 1)			
設問6	コースコード		実施回		教材コード			

設問ごとに各5点